

大切な「水」をあなたへ……●川本ポンプ

ジェットセット取扱説明書

このたびは、カワエースジェットJF2用ジェットセットをお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

また、使用されるポンプの取扱説明書もよくお読みください。

取扱説明書には危害や損害を未然に防止するための注意事項が記載されています。

なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

▲ 特に注意していただきたいこと

1. 決められた製品仕様以外では使用しないでください。感電・火災、漏水などの原因になります。
2. 排水処理、防水処理されていない場所には設置しないでください。水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。※排水処理、防水処理されていない場合の被害については責任を負いかねます。
3. 飲用水として使用する場合は、保健所の指示に基づき設置時および定期的に、水質検査を実施してください。水質が悪化していると、飲用に使用した場合健康を損なう恐れがあります。
4. 設置工事は、販売店様（工事店様）に依頼してください。工事に不備があると、感電・火災・落下・転倒によるけがなどの原因になります。

本文中の関連箇所にも製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための注意事項が記載されています。

また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

▲ 警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

▲ 注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

< 目 次 >

1	はじめに	1	4	据付・配管	5
2	適 用	2	5	自圧弁調整値	10
3	製品の構成	3			

1 はじめに

ジェットセットがお手元に届きましたら、下記をお調べください。

1. 1 ご注文通りのジェットセットか、ご確認ください。
1. 2 輸送中に破損した箇所はないか、ご確認ください。
1. 3 ご注文の付属品が全てそろっているか、ご確認ください。
《不具合な点がございましたら、お手数でもご購入先へご照会ください》

2 適 用

2. 1 適用ポンプジェットセット

【深井戸用ジェットセット】

<一覧>

名称	備考
ジェットセット N4 0	・井戸径φ100以上用 ・樹脂製 ・レバー付き
ジェットセット N4 1	
ジェットセット N4 2	
ジェットセット N4 3	
ジェットセット N4 4	
ジェットセット N5 0	・井戸径φ100以上用 ・樹脂製 ・レバー無し
ジェットセット N5 1	
ジェットセット N5 2	
ジェットセット N5 3	
ジェットセット N5 4	
ジェットセット R1 1	・井戸径φ75以上用
ジェットセット R1 2	・ステンレス製

<適用表>

適用ポンプ形式	ジェットセット	吸上高さ
JF2-250	N4 0,N5 0,R1 1	6～12m
	N4 2,N5 2,R1 2	12～18m
	N4 1,N5 1	18～24m
JF2-400	N4 0,N5 0,R1 1	6～12m
	N4 2,N5 2,R1 2	12～18m
	N4 3,N5 3,R1 2	18～24m
	N4 3,N5 3	24～30m
	N4 3,N5 3	30～35m
JF2-750	N4 0,N5 0,R1 1	6～12m
	N4 4,N5 4,R1 2	12～18m
	N4 4,N5 4,R1 2	18～24m
	N4 3,N5 3,R1 2	24～30m
	N4 3,N5 3	30～35m
JF2-1100/1500	N4 0,N5 0	6～12m
	N4 0,N5 0	12～18m
	N4 4,N5 4	18～24m

【浅井戸用ジェットセット】

<一覧>

名称	備考
ジェットセット A1 1	浅井戸（受水槽）用
ジェットセット A1 2	
ジェットセット A1 3	
ジェットセット A1 4	
ジェットセット A1 5	
	受水槽専用

<適用表>

適用ポンプ形式	ジェットセット	吸 込 条 件	
		浅井戸	受水槽
JF2-250	A1 1	吸込全揚程－7m	吸込全揚程－1m
JF2-400	A1 2		～
JF2-750	A1 3		流込み＋5m
JF2-1100/1500	A1 4	吸込全揚程－6m(※1)	吸込全揚程－3m(※2)
	A1 5	—	～＋5m

(※1) 吸込実揚程－4m以内

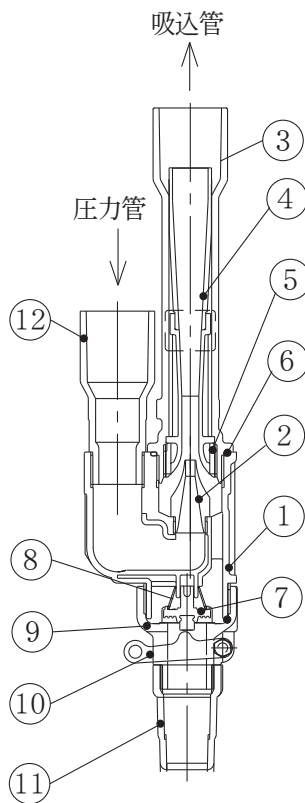
(※2) 吸込実揚程－1m以内

注1) N4 0～、N5 0～、A1 1～シリーズはJF形以前の弊社ポンプと組み合わせる場合、使用は可能ですが推奨いたしません。仕様が出ない、ポンプが停止しない等の可能性があります。詳しくは最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。

注2) 他社製ポンプと組み合わせての使用はできません。

3 製品の構成

3. 1 ジェットセットN40～N44（レバー付）

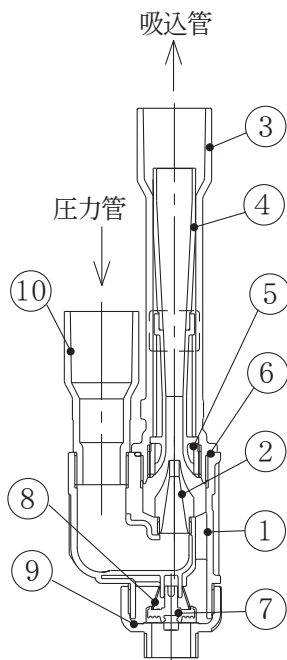


No	名 称
1	ジェットボデー
2	ノズル
3	ソケット
4	ディフューザー
5	リング
6	Oリング
7	弁体
8	ばね
9	弁箱
10	レバー
11	ストレーナ
12	ソケット

<付属品>

名 称	数量	備考
クランプ (ボルト、ナット×2)	一式	
ネームラベル	1	
バンド(大)	2～6	
バンド(小)	1	
パッキン	1	予備
取扱説明書	1	本紙

3. 2 ジェットセットN50～N54（レバー無し）

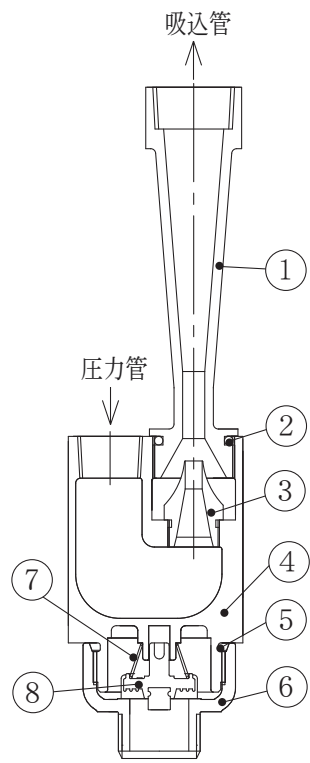


No	名 称
1	ジェットボデー
2	ノズル
3	ソケット
4	ディフューザー
5	リング
6	Oリング
7	弁体
8	ばね
9	弁箱
10	ソケット

<付属品>

名 称	数量	備考
クランプ (ボルト、ナット×2)	一式	
給水ソケット	1	吸込延長する 場合に使用
リングパッキン	1	
ストレーナ	1	
ネームラベル	1	
バンド	2～6	
パッキン	1	予備
取扱説明書	1	本紙

3. 3 ジェットセットR11、R12

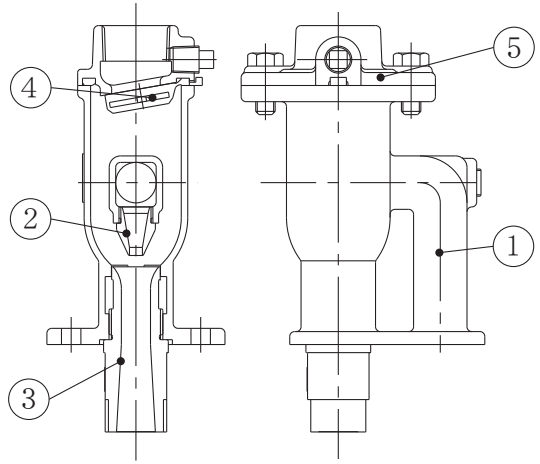


No	名 称
1	ディフューザー
2	Oリング
3	ノズル
4	ジェットボデー
5	リングパッキン
6	弁箱
7	ばね
8	弁体

<付属品>

名 称	数量	備 考
クランプ (ボルト、ナット×2)	一式	吸込延長する 場合に使用
給水ソケット	1	
リングパッキン	1	
ストレーナ	1	
バンド	6	
パッキン	1	予備
バルブソケット 20	1	
バルブソケット 25	1	
径違いソケット 25×20	1	
塩ビ管 20-300mm	1	
ネームラベル	1	
取扱説明書	1	本紙

3. 4 ジェットセットA11～A15 浅井戸用（受水槽用）



No	名 称
1	ジェットボデー
2	ノズル
3	ディフューザー
4	弁体付パッキン
5	弁座付ひしフランジ

<付属品>

名 称	数量	備 考
防寒カバー	1式	
ストレーナ	1	A11：25mm A12, 13：32mm A14, 15：40mm
ボルト	4	
平座金	4	
パッキン	1	
取扱説明書	1	本紙

▲ 警 告

- 据付は取扱説明書に従って確実に行ってください。据付が不完全な場合、感電や火災、落下によるけがの原因になります。

▲ 注 意

- 決められた適用ポンプ以外での使用はしないでください。破損の原因となります。
- 排水処理、防水処理されていない場所には設置しないでください。水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。※排水処理、防水処理されていない場合の被害については責任を負いかねます。
- 砂や異物を吸込まないようにしてください。始動不能や動作不良の原因になります。
- 井戸の水位は季節によって変動する湧水量、井戸容量、ポンプ揚水量により変動します。水位の変動を十分に調査し、水位が下がった時の空気吸込みがおこらない様にしてください。空運転の原因となります。

[注記]

凍結防止のため、配管には保温材を巻くか、地下に埋設してください。

4. 1 深井戸用ジェットのの場合

ポンプに付属の取扱説明書もあわせてご参照ください。（据付・配管工事、接地、試運転前に必ずお読み頂き、正しく作業を行ってください。）

また、据付の際にジェット深さを記録しておくことと交換の際などに役立ちます。

- (1) 井戸径はNタイプは100mm(4B)以上、Rタイプは75mm(3B)以上が必要です。
詳しくは下表をご参照ください。

<ジェットセットと各種配管適用表>

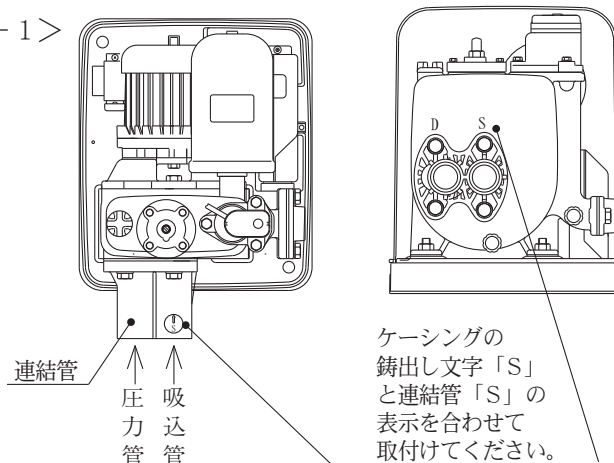
ジェットセット	適用井戸径	吸込管		圧力管	
		井戸内	井戸外	井戸内	井戸外
N40～44	100mm(4B)以上	30mm	30mm	30mm	30mm
N50～54					
R11、R12※	75mm(3B)以上	25mm	30mm	25mm	30mm

※P9ジェットセットR11、R12据付例（注意事項）をご参照ください。

- ・ 上記配管径の寸法は呼び径です。
- ・ 井戸管：水道用硬質ポリ塩化ビニル管（VP）、配管用炭素鋼鋼管（SGP）をご使用ください。
- ・ 吸込み、圧力管：塩ビ管（VP）をご使用ください。

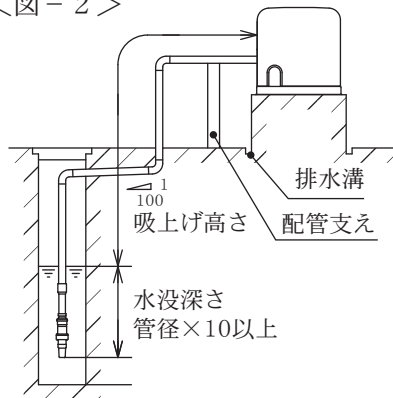
- (2) ポンプに付属の連結管、パッキンを取付けてください。ケーシング鑄出し文字「S」側に吸込管、「D」側に圧力管を連結管と塩ビ用接着剤で接着してください。（<図-1>参照）
ポンプとジェット部の吸込管、圧力管を間違わないよう接続してください。

<図-1>



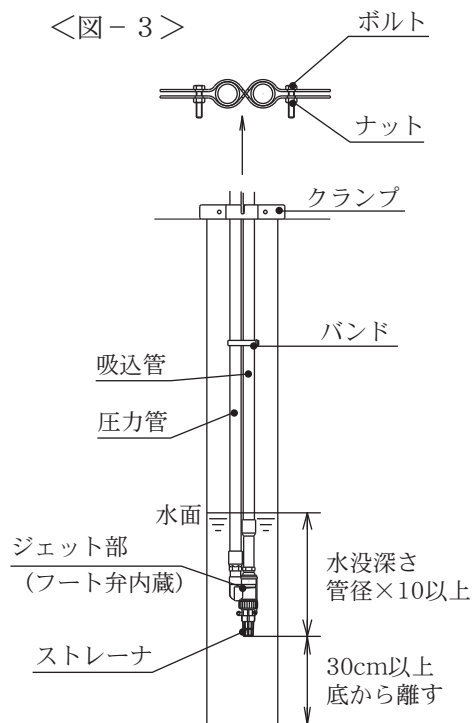
- (3) 配管はできるだけ短く、曲がりのないようにしてください。
- (4) 空気溜りが出来ないように、勾配を付けてください。(＜図－2＞参照)

＜図－2＞



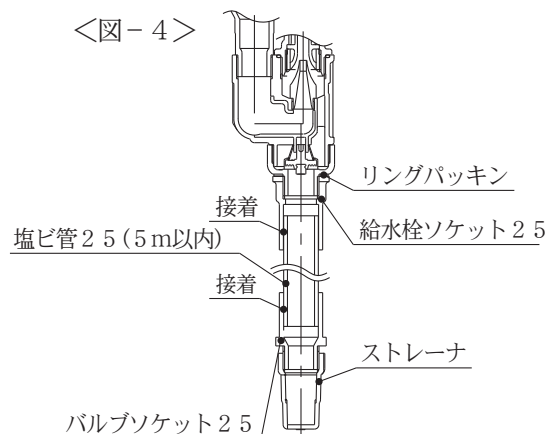
- (5) 必ずストレーナを取付けてください。
- (6) 吸込管、圧力管の上端をクランプにて固定し、井戸上端にセットして、ジェットが井戸内に落下しないようにしてください。(＜図－3＞参照)

＜図－3＞

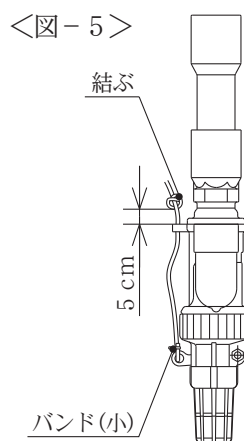


(7) ジェットセットN50～54（レバー無）にて吸込み延長する場合は付属のリングパッキン、給水栓ソケット、ストレーナを接続してください。（＜図－4＞参照）塩ビ管25（5m以内）、バルブソケット25はお客様にてご用意ください。

（注）水位がジェット部より低い場合は仕様点を満足しない場合がありますのであらかじめ1ランク深い水位に対応出来るジェットの選定や、高出力のポンプの選定なども合わせてご検討ください。また、自吸時に延長配管の空気排出に時間がかかる場合があります。数分経過しても揚水しない場合は、再度呼び水を行ってから自吸動作を実施してください。



(8) ジェットセットN40～44（レバー有）の場合、レバーにロープを取付けてください。（＜図－5＞参照、ロープはお客様にてご用意ください）



(9) ポンプ周辺の視認しやすい場所に付属のネームラベルを貼ってください。

※ 据付の際にジェット深さを記録しておく、交換の際などに役立ちます。

4. 2 浅井戸用（受水槽用）ジェットの場合

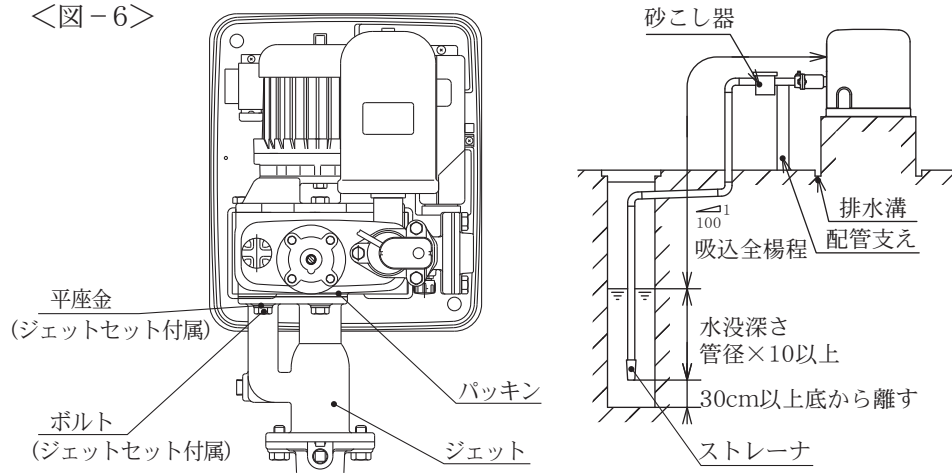
ポンプに付属の取扱説明書もあわせてご参照ください。

（据付・配管工事、接地、試運転前に必ずお読み頂き、正しく作業を行ってください。）

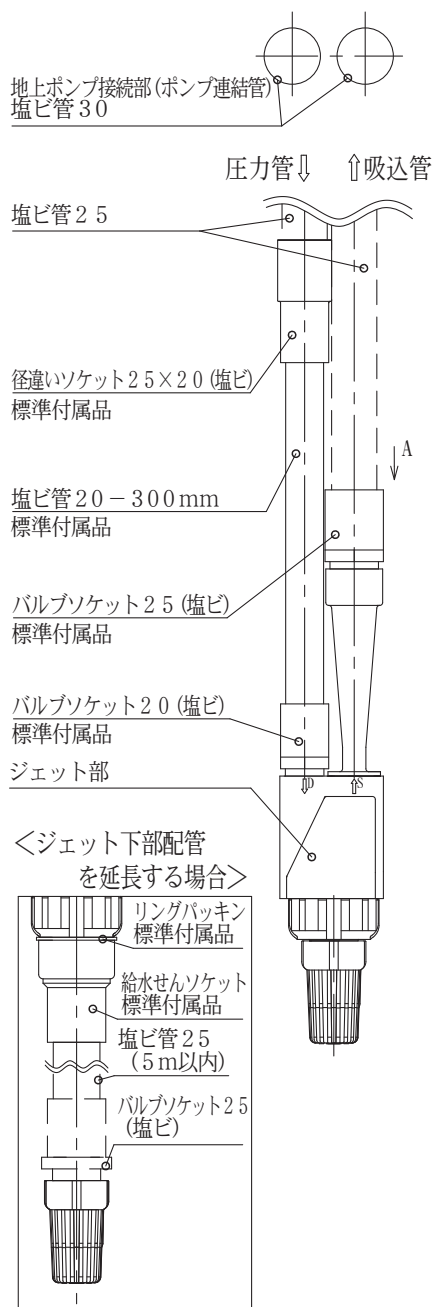
また、据付の際にジェット深さを記録しておくこと交換の際などに役立ちます。

- （1）ジェットセット付属のボルトにて、ジェット部をポンプに取付けてください。
- （2）配管はできるだけ短く、曲がりのないようにしてください。
- （3）水没深さは管径の10倍以上とし、空気を吸込まないようにしてください。
- （4）井戸底までの深さは30 cm以上確保してください。
- （5）吸込配管の先端にストレーナを取付けてください。
- （6）異物、砂等の混入が考えられる場合は、砂こし器を取付けてください。
- （7）空気溜りが出来ないように、勾配を付けてください。
- （8）防寒カバーをジェット本体に取付け、ビニールテープにて固定してください。

＜図－6＞

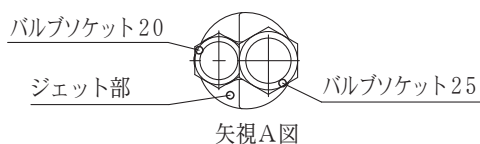


ジェットセット R11、R12 据付例（注意事項）



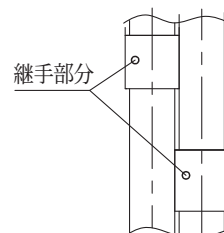
据付施工時の注意事項 1

初めにバルブソケット（20、25）をジェット部へ取付けてください。（取付向き下図参照）
取付向きによっては井戸挿入時に井戸ケーシングと干渉し挿入出来ない可能性があります。



据付施工時の注意事項 2

圧力管と吸込管の継手部分は重ならないよう施工してください。（下図参照）
重なると、井戸挿入時に井戸ケーシングと干渉し挿入出来ない可能性があります。



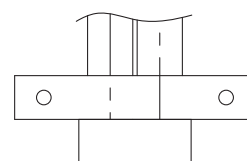
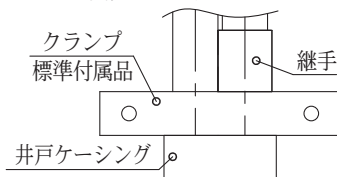
据付施工時の注意事項 3

事前に配管にクランプを取付けた状態で井戸ケーシング（VP75管）に挿入する場合、配管位置がクランプの取合いに左右に広がる為、配管と井戸ケーシングとが干渉します。挿入は可能ですが、クランプの取付位置によっては挿入出来ない可能性があります。（下図参照）

<○：挿入可能な取付位置例>

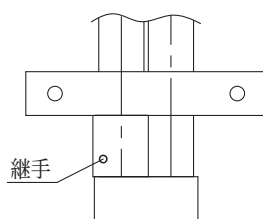
① 継手の真下にクランプを取付

② 継手が近くない部分へクランプを取付。



<×：挿入不可能な取付位置例>

① 継手の真上（近く）にクランプを取付



（注）水位がジェット部より低い場合は仕様点を満足しない場合がありますのであらかじめ1ランク深い水位に対応出来るジェットの選定や、高出力のポンプの選定なども合わせてご検討ください。
また、自吸時に延長配管の空気排出に時間が掛かる場合があります。
数分経過しても揚水しない場合は、再度呼び水を行ってから自吸動作を実施してください。

ジェット部と標準付属品以外はお客様にてご用意ください。

5

自圧弁調整値

深井戸用ジェットの場合、運転時に自圧弁の調整が必要です。調整値は下表をご参照ください。
詳しい調整方法は、ポンプ付属の取扱説明書（試運転項目）を別途ご参照ください。

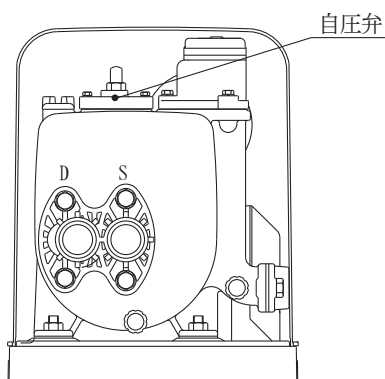
ポンプ形式	ジェットセット	吸上高さ(浅側～深側)	自圧弁調整圧力
J F 2 - 2 5 0	N 4 0, N 5 0	6 ～ 1 2 m	0.09 ～ 0.12 MPa
	R 1 1	6 ～ 1 2 m	0.08 ～ 0.12 MPa
	N 4 2, N 5 2, R 1 2	1 2 ～ 1 8 m	0.09 ～ 0.12 MPa
	N 4 1, N 5 1	1 8 ～ 2 4 m	
J F 2 - 4 0 0	N 4 0, N 5 0, R 1 1	6 ～ 1 2 m	0.16 ～ 0.18 MPa
	N 4 2, N 5 2, R 1 2	1 2 ～ 1 8 m	
	N 4 3, N 5 3	1 8 ～ 2 4 m	
	R 1 2	1 8 ～ 2 4 m	0.24 MPa
	N 4 3, N 5 3	2 4 ～ 3 0 m	0.16 ～ 0.18 MPa
	N 4 3, N 5 3	3 0 ～ 3 5 m	0.19 MPa
J F 2 - 7 5 0	N 4 0, N 5 0, R 1 1	6 ～ 1 2 m	0.25 ～ 0.27 MPa
	N 4 4, N 5 4, R 1 2	1 2 ～ 1 8 m	
	N 4 4, N 5 4, R 1 2	1 8 ～ 2 4 m	
	N 4 3, N 5 3	2 4 ～ 3 0 m	
	R 1 2	2 4 ～ 3 0 m	0.32 MPa
	N 4 3, N 5 3	3 0 ～ 3 5 m	0.25 ～ 0.27 MPa
J F 2 - 1100/1500	N 4 0, N 5 0	6 ～ 1 2 m	0.25 ～ 0.27 MPa
	N 4 0, N 5 0	1 2 ～ 1 8 m	
	N 4 4, N 5 4	1 8 ～ 2 4 m	

※ 運転水位が上表の吸上高さより浅い場合は、その差分だけプラスした圧力に調整してください。

＜例＞ J F 2 - 400 + ジェットセット N 4 2 の組合せにて、吸上げ高さ＝6 m の場合

$$\begin{aligned}
 \text{調整圧力 (MPa)} &= \text{上表調整圧力の下限 (MPa)} + (\text{上表吸上高さ浅側 (m)} \times 0.01 - \text{吸上高さ (m)} \times 0.01) \\
 &= 0.16 \text{ MPa} + ((12 \text{ m} \times 0.01) \text{ MPa} - (6 \text{ m} \times 0.01) \text{ MPa}) \\
 &= 0.22 \text{ MPa}
 \end{aligned}$$

従って、自圧弁調整圧力は 0.22 MPa となります。



ご注意

圧力計がご用意できない場合でも、水流音（シャー音）が静かになる位置を目安に自圧弁の調整ボルトの調整をしてください。未調整のままポンプを使用すると、部品の寿命低減など予期せぬ不具合につながる恐れがあります。

[illegible]

[illegible]

株式会社

☎0564-31-4191 (代)

検査合格証
株式会社 川本製作所

検査	検査責任者
----	-------